

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金 事業実績

交付金対象事業名		事業期間			
地域産業DX促進拠点施設整備事業【地方創生拠点整備タイプ】 地域産業DX促進事業【地方創生推進タイプ】		令和5年度～令和7年度			
交付対象事業費		交付決定額		交付金充当額	
【拠点タイプ】	27,939,000円	【拠点タイプ】	13,969,000円	【拠点タイプ】	13,969,000円
【推進タイプ】	17,999,740円	【推進タイプ】	9,000,000円	【推進タイプ】	8,999,870円
計	45,938,740円	計	22,969,000円	計	22,968,870円
事業の概要・目的					
都市部から本市産業と親和性があり、地域課題の解決に寄与することが期待できるITベンチャー企業等の誘致に戦略的に取り組み、企業間及び地域企業等との連携によるオープンイノベーションの創出、市内産業のデジタル化やDX化の促進により労働生産性の向上、新たな雇用の創出による若者の定着へと繋げ、市内全産業が発展していく好循環（エコシステム）を構築し、持続可能な経済成長を目指す。					
令和5年度事業実績					
◆既存施設改修に係る調査設計・設計監修【企業誘致・まちづくり推進課】 ・既存施設の構造調査及び模様替えに係る基本設計業務の実施 ・既存施設を再利用し、個性的で魅力的な施設とすることにより、都市部の企業に選ばれる拠点整備を行うための設計監修業務の実施				16,939,000円	
◆民間所有施設の公有化【企業誘致・まちづくり推進課】 ・民間所有施設（建物）の購入 ※土地は交付金対象外のため単独市費で購入				11,000,000円	
◆戦略的企業誘致促進事業【企業誘致・まちづくり推進課】 ・企業誘致マネージャー及びコーディネーター設置費用 ・情報発信及び誘致活動費 ・デジタル人材育成費用				17,999,740円	

重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前	目標		実績	
		上段:事業期間増加分累計 下段:単年度増加分	上段:事業期間増加分累計 下段:令和5年度増加分		
ITベンチャー企業等誘致件数 (拠点整備タイプ・推進タイプ)	0件	28件 0件	-件 -件		
ビジネスマッチング件数 (拠点整備タイプ・推進タイプ)	0件	25件 0件	-件 -件		
イノベーション創出数 (拠点整備タイプ・推進タイプ)	0件	42件 0件	-件 -件		
ITベンチャー誘致企業雇用者数 (拠点整備タイプ)	0人	55人 0件	-人 -人		
デジタル人材育成セミナー参加者数 (推進タイプ)	0人	650人 150人	150人 150人		

※拠点整備タイプは運営開始（2025年度）以降のKPIのため、実績値の記載なし

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金 事業実績

交付金対象事業名		事業期間
海・山・人が織りなす観光地の未来創造事業【地方創生推進タイプ】 <広域連携（下関市、美祢市、長門市）>		令和3年度～令和5年度
交付対象事業費	交付決定額	交付金充当額
20,244,500円	10,507,000円	10,122,250円
事業の概要・目的		
<p>様々な制約があるポストコロナ時代を迎え、従来の温泉と食、自然や歴史資源といった旅行形態から、新たな付加価値としてアウトドアスポーツに着目し、市境を超えた豊富な自然資源を活かし、広域連携によるアウトドアスポーツを通じた着地型観光メニューの提供により交流人口の拡大を図る。</p> <p>さらにアウトドアスポーツ関連以外の幅広い分野との連携により「稼ぐ力」を創出し、地域の雇用を誘発することで、持続可能なまちの実現を目指す。</p>		
令和5年度事業実績		
◆ジャパンエコトラックルートを活用した情報発信業務【観光政策課】 ・下関市・美祢市・長門市アウトドアツーリズム広域協議会 （3市でジャパンエコトラック下関・美祢・長門ルートの認定を目指すと同時に観光客、宿泊客、アクティビティ体験者数の増加につなげる）		1,000,000円
◆JALグループのリソースを活用した情報発信事業【観光政策課】 ・JAL「サ旅」（サウナを目的とした旅行）と連携した新たな観光コンテンツを創出		1,500,000円
◆デジタル観光戦略推進事業【観光政策課】 ・（株）日立システムズと連携したAIカメラでの車両周遊分析 ・デジタルメディアを活用したウェブサイト誘導広告、分析		8,340,500円
◆地域旅ツーリズム推進事業【観光政策課】 ・地域の観光資源を生かした着地型旅行商品の企画実施 ・ナガトリップ（市民や企業の参加による、まちの魅力を体験できる新たな地域旅）の実施		7,404,000円
◆スポーツ・キャンパイベント開催事業【観光政策課】 ・山口ながとクリテリウムの開催 （自転車競技ロードレース：センザキッチン及び仙崎白湊地区周辺）		2,000,000円

重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前	目標		実績	
		上段: 事業期間増加分累計 下段: 単年度増加分	上段: 事業期間増加分累計 下段: 令和5年度増加分		
アウトドアスポーツ 体験者数	5,647人	3,453人 1,050人	△31人 △1,267人		
観光客数(※)	1,594,009人 (確定値: 1,636,299人)	1,058,076人 241,099人	416,998人 47,845人		
宿泊客数(※)	334,098人 (確定値: 336,143人)	200,285人 48,580人	49,348人 8,271人		

※ 事業開始前の観光客数、宿泊客数は計画書策定時（R2.12集計）の暫定値のため、毎年3月公表の観光客動態調査（確定値）とは数値が異なる。確定値を基準とした実績（事業期間増加分累計）は、観光客数374,708人の増、宿泊客数47,303人の増となる。

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金 事業実績

交付金対象事業名		事業期間
域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業 【地方創生推進タイプ】 <広域連携（山口県、山口市、萩市、長門市）>		令和2年度～令和6年度 (長門市：令和3年度～)
交付対象事業費	交付決定額	交付金充当額
3,681,011円	2,000,000円	1,840,505円
事業の概要・目的		
<p>【長門市該当部分抜粋】 <新たなモビリティサービスの調査・実証> ○実証対象エリア：萩・長門市街地～新山口駅 交流人口、ビジネス関係人口創出の起爆剤となる新山口駅北地区拠点施設の整備を契機として、山口市内への還流のみならず、山口宇部空港（宇部市）へのスムーズな移動、萩市・長門市の観光地・温泉地などへの周遊など、県内各地への新たな人の流れを段階的に構築するため、基礎的な交通利用調査から、MaaS（※）に係る実証事業、新たなモビリティサービス事業の構築までを一体的・年次的に実施する。</p> <p>※MaaS（マース：Mobility as a Service） ・地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせることで検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの。（国土交通省HPより抜粋）</p>		
令和5年度事業実績		
◆新たなモビリティサービス調査・実証事業【産業政策課】（実施主体：山口県） ・新たなモビリティサービス調査・実証事業負担金		457,997円
◆実証実験及び社会実験【産業政策課】 ・山口宇部空港直通便実証事業 1日2往復（金・土・日・月曜のみ運行 ※運行期間：8月4日～1月29日）		3,223,014円

重要業績評価指標（KPI） <長門市該当部分抜粋>	事業開始前	目標	実績
		上段：事業期間増加分累計 下段：単年度増加分	上段：事業期間増加分累計 下段：令和5年度増加分
本取組等による実証事業の実施件数（新たなモビリティサービス調査・実証事業）	0件	17件 4件	2件 0件

※山口県目標値

※長門市実績値

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金 事業実績

交付金対象事業名		事業期間
多様な主体が連携した「やまぐち創生テレワーク」×「山口型ワーケーション」×「地域づくり」の広域的・一体的な推進による移住・還流促進事業【地方創生推進タイプ】 <広域連携（山口県、宇部市、山口市、岩国市、長門市、周南市）>		令和4年度～令和6年度
交付対象事業費	交付決定額	交付金充当額
6,815,539円	3,900,000円	3,407,769円
事業の概要・目的		
<p>【長門市該当部分抜粋】 <テレワーク移住・ワーケーションの一体的推進拠点の整備及び地域の取組支援> テレワークやワーケーションを契機として、資金と時間に比較的余力のあるテレワーカーやワーケータを交流人口として都市圏等から誘客し、観光地のみならず県内複数エリア間の地域や施設を周遊させて、域内外の人や地域経済の循環を活性化させる。 これまで市外・県外からの交流人口・関係人口の獲得が困難だった中山間地域においても、滞在可能なコワーキングスペースの整備や独自の地域資源（ヒト・モノ・コト）を活かした魅力的な地域づくりを通じて、テレワーカーやワーケータの受入体制を構築し、地域活性化及び域外資金獲得に伴う経済活動の活発化の恩恵を受けられるようにする。 こうした「転職なき移住（テレワーク移住）」の推進によって生まれた地方への「ひと」の流れを中山間地域にも取り込み、魅力ある生活やライフスタイルが実感されることにより、地域の担い手となる移住者を増加させ、さらなる「しごと」や「ひと」の流れを生み出す好循環の実現を目指す。</p>		
令和5年度事業実績		
◆やまぐち創生テレワーク先導的・中核的拠点施設の機能・連携強化【産業政策課】 ・やまぐち創生テレワークコーディネーターの配置		4,772,400円
◆テレワーク移住・ワーケーションの一体的推進拠点の整備【産業政策課】 ・テレワーカー・ワーケータの受入に向けた環境整備（機器等の使用料）		2,043,139円

重要業績評価指標（KPI） <長門市該当部分抜粋>	事業開始前	目標		実績	
		上段：事業期間増加分累計 下段：単年度増加分	上段：事業期間増加分累計 下段：令和5年度増加分		
本事業で進める「やまぐち創生テレワーク」ネットワーク加入施設数	22件	9件 3件	1件 0件		

※山口県現状値

※山口県目標値

※長門市実績値